

平成 25 年度病害虫防除技術情報（第 2 号）

平成 25 年 4 月 30 日
和歌山県農作物病害虫防除所
TEL 0736-64-2300

1. 病害虫名：モモせん孔細菌病
2. 対象作物：モモ
3. 対象地域：紀北地域
4. 発生量： やや多
5. 発生期間： 4～7月
6. 発生状況：
 - (1) 紀北地域のモモ園にける 4 月中旬の春型越冬病斑の発生園率は 20 %（平成 4 %）、発病枝率は 0.3 %（平成 0.06 %）と平成に比べやや多かった（表 1）。
 - (2) 4 月中旬にモモ園から採取した春型越冬病斑形成枝からのモモせん孔細菌病菌の分離率は 86.4 % と高かった。
7. 防除上の注意事項
 - (1) 春型越冬病斑形成枝は、春葉への伝染源となるので、可能な範囲で剪除する。
 - (2) 果実発病は、5 月以降、特に降雨により多くなるので、降雨前の予防散布を徹底する。降雨後の薬剤散布は出来る限り早めに行う。
 - (3) 次年度以降に向けた防除対策は以下のとおり。 ①翌年の伝染源となる春型越冬病斑の形成を抑制するため、秋期の銅水和剤の散布を徹底する。 ②防風対策が重要なので、防風ネットや防風樹（トウネズミ、ネズミモチ、イヌマキ、カシ類等）を設置する。
 - (4) 殺菌剤マイコシールドは、連用すると葉先の黄化を生じることがあるので注意する。

表 1. モモせん孔細菌病春型越冬病斑の発病園率と発病枝率

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	平年値
発病園率(%)	10	10	0	10	0	0	0	0	0	10	20	4
発病枝率(%)	0.3	0.1	0	0.1	0	0	0	0	0	0.1	0.3	0.06

注) 調査ほ場数: 10 園

調査時期: 4 月中旬

平年値: 2003～2012 年の平均値



図 1 モモせん孔細菌病の春型越冬病斑